

作成者	氏 名	中西 喜由	(17)期生	
行事名	日帰り研修 (丹波篠山方面)		参加人数	54名
実施日	令和元年 6月 26日 (水) 日帰り			
場 所	丹波篠山市			
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者総数：54名 (学長、副学長を含む) ・天候：晴れ 			
*できるだけ 箇条書き	<ul style="list-style-type: none"> ・午前8時、湊川神社前出発 (大型バス) ・研修目的：丹波篠山方面の農業及び地域町おこしの現状を実感する 			
*写真などあ れば貼付け	<ul style="list-style-type: none"> ・以下、訪問先及び研修概要 <ul style="list-style-type: none"> 1) 篠山市民センター <ul style="list-style-type: none"> 講話「丹波篠山市の農業施策について」講師：農都政策課 神田係長 内容：①丹波篠山黒豆について ②丹波篠山山の芋について ③集落営農について <ul style="list-style-type: none"> *市の総人口：42,948人 (平成28年) *農業従事総戸数：3,775戸 (平成27年) *黒豆栽培面積：557ha (甲子園球場615個分) 2) 鳳鳴酒造ほろよい城下蔵 <ul style="list-style-type: none"> 酒蔵見学及び製法の説明受講 試飲も楽しむ *鳳鳴酒造・・・創業寛政9年 (1797年) 酒蔵等の建物：2003年国の有形文化財に登録 3) 黒豆の館 <ul style="list-style-type: none"> 地産農産物主体の土産店 昼食・・・地産バイキング 4) 特定非営利活動法人バイオマス丹波篠山 会員数：15名 <ul style="list-style-type: none"> 講話「当法人の現在の取組みについて」講師：高橋隆治代表 ・当法人の事業内容：緑化活動を通じて、環境に配慮したまちづくりに貢献するとともに、バイオマスの研究によって環境問題の改善を図る。 ・儲からない林業、奈良県十津川村の例 ・現在の主たる取組み事業：間伐・里山整備 木材の製造 ペレット供給 ・小型重機利用の機械化を図る。また山に入る人間を増やせ。 5) 農事組合法人 丹波たぶち農場 <ul style="list-style-type: none"> 講話：「当法人の取組と実態」 講師：田淵真也理事 ・当法人設立 平成14年2月 ・生産物：水稻、いちご、黒大豆等 ・所有農地：70ha (参考：丹波篠山市全体総農地・4,400ha) 			

- ・年間売上：250 百万円 共同購入、共同販売に努めている。こだわりの農業目指す。先ず土づくりから。また農業の観光化を図る。いちご、枝豆狩りにおける年間集客数：約 7,000 人

- ・その他の観光農業：市民農園、田植え・稲刈り体験、一畝オーナー等

6) 丹波篠山市立城東小学校（押部匡子校長）

講話「当小学校における食育教育」 講師：岡田 栄養教諭

*本校の児童の食事は、毎日 3 食、米食との説明があった。

7) 農事組合法人 真南条（まなんじょう）営農組合

（代表理事：酒井勇氏）

講話：「新しい経営体の地域農業づくり」

- ・昭和 55～62 年実施の真南条地区土地改良整備事業及び国の米減産策を背景に、当法人の前身である農地利用改善組合を立ち上げ。平成 11 年法人化、営農組合設立、その後同 12 年特定農業法人の認定。

- ・量より質、食味、環境問題を重視した安全ブランド米の栽培を図る。

- ・農業体験の実施（本校生 14 名が黒豆の定植作業）

8) 真南条クーネル会の畑、田圃見学

午後 6 時神戸、湊川神社到着

本日、ご講話・ご指導頂いた関係者の皆様、大変お世話になりました。

有難うございました。

以上